

口腔の健康状態の評価

項目番号	項目	評価		評価基準	評価の必要性
1	開口	1.できる	2.できない	<p>上下の前歯の間に指2本（縦） 入る程度まで口が開かない場合（開口量3cm以下）には「2.できない」とする。</p>  <p>1.開口できる 指2本分（縦） 入る</p> <p>2.開口できない 指2本分（縦） 入らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口が開けられなかったり、口を開けることを拒否したりすることは、口の健康状態の把握ができないため、歯科医師等との連携が必要となる。 ・口を開けた状態を保てない場合は、口の中の清掃が不良になる。
2	歯の汚れ	1.なし	2.あり	<p>歯の表面や歯と歯の間に白や黄色の汚れがある場合には「2.あり」とする。</p>  <p>2. あり</p> <p>歯の根元と根に 白色の汚れ</p> <p>乾燥した汚れ</p> <p>歯石</p> <p>歯全体に汚れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯が汚れている状態は、プラーク（細菌等の塊）が付着している状態である。むし歯や歯周病の原因となるだけでなく、汚れを誤嚥すると誤嚥性肺炎の原因にもなる。
3	舌の汚れ	1.なし	2.あり	<p>舌の表面に白、黄、茶、黒色の汚れなどがある場合には「2.あり」とする。</p>  <p>1. なし</p> <p>2. あり</p> <p>正常舌</p> <p>白（白苔）</p> <p>黄、茶 （舌苔、汚れ）</p> <p>黒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・舌が汚れている状態は、細菌なども含めて舌表面に付着している状態である。 ・歯の汚れと同じように、汚れを誤嚥すると誤嚥性肺炎の原因にもなる。 ・舌の動きが低下し、自浄作用が低下している可能性もある。 ・舌の汚れは、口腔カンジダ症、貧血、免疫低下、低栄養などの全身の問題も疑われる。
4	歯肉の腫れ、出血	1.なし	2.あり	<p>歯肉が腫れている場合（反対側の同じ部分の歯肉との比較や周囲との比較）や歯磨きや口腔ケアの際に出血する場合は「2.あり」とする。</p>  <p>1. なし</p> <p>2. あり</p> <p>健全な歯肉</p> <p>出血した歯肉</p> <p>腫れた歯肉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯肉の腫れや出血は、歯周病が原因である。 ・歯周病は、放置すると歯を失う可能性が高くなる。 ・糖尿病等の全身疾患と、歯周病の進行との関連性も報告されている。

5	左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる	1.できる	2.できない	<p>本人にしっかりかみしめられないとの認識がある場合、または義歯を入れても奥歯がない部分がある場合は「2.できない」とする。</p>  <p>左右両方も奥歯がある 義歯でしっかりかみ合っている 右下の奥歯がない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥歯がない場合には、食べ物をかみ砕く能力が低下し、食形態を調整しても、窒息事故を起こす関連性が報告されている。 ・奥歯がない場合は、転倒リスクとの関連性も報告されているため、義歯等の利用も含めて検討が必要である。
6	むせ	1.なし	2.あり	<p>安静時や食事時にむせがある場合や、明らかなむせはない場合も、食事中や食事後の痰がらみ、声の変化、息が荒くなるなどがある場合は「2.あり」につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害の可能性がある。 ・唾液や食物などを誤嚥している可能性があり、摂食嚥下機能の評価や訓練が必要である。
7	ぶくぶくうがい	1.できる	2.できない	<p>歯磨き後のうがい時に口に水をためておけない場合や、頬を膨らませられない場合、膨らました頬を左右に動かせない場合は「2.できない」につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶくぶくうがいは、口の周りの筋肉などの動きと関連している。 ・口腔機能の低下により口腔衛生の悪化にも関連する。
8	食物のため込み、残留	1.なし	2.あり	<p>食事の際に口の中に食物を飲み込まずにためてしまう場合、飲み込んだ後に口を開けると食物の一部が残っている場合は「2.あり」とする</p>  <p>入れ歯に食物が残っている 口の中に食物が残っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害と関連しており、摂食嚥下機能の評価や訓練などが必要である。 ・口腔機能と食形態との不一致の可能性もある。
9	その他	自由記載		<p>歯や粘膜に痛みがある、口の中が乾燥する、口臭がある、義歯の汚れがある、義歯がすぐに外れる、口の中に薬が残っているなどの気になる点があれば記載。</p>  <p>歯がとがっている 義歯のバネがかかる歯が欠けている 粉薬が残留している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の問題は、むし歯や歯周病の可能性もある。 ・歯の鋭縁で口の粘膜を傷つける可能性もある。 ・口唇、舌、口の中の粘膜の汚れは、口腔機能に低下に伴う摂食嚥下障害の可能性もある。 ・義歯の問題は口腔機能への影響だけでなく、口腔カンジダ症、粘膜の損傷などのリスクを高める。 ・薬が口の中に残っている場合は、薬効の低下だけでなく、口の粘膜を障害する可能性がある